



学校だより

やまゆり



2022年1月号
令和4年1月7日
横浜市立大口台小学校

神奈川区大口仲町 460

<http://www.educity.yokohama.lg.jp/school/es/oguchidai>

学校からのお知らせを学校HPで日々発信しています(担当:副校長)

2022年 新たな年が始まりました

校長 平原 智美

みなさま、今年もどうぞよろしくお願いいたします。児童のみなさんが、安全で安心して楽しい学校生活を送れるよう全ての職員で努力していきます。また、新型コロナウイルスの感染者は減少傾向にありますが、引き続き横浜市教育委員会のガイドラインに準じて教育活動を進めていきます。

ところで、児童のみなさんは、冬休みをどのように過ごしましたか。

2週間ほどの休みでしたが、大掃除や洗濯、買い物のお手伝い、家族旅行、ゲーム遊び、凧揚げ、独楽回し、宿題、家庭学習など、様々な楽しい時間を過ごしていたのではないのでしょうか。

今日から学校生活も始まり、久しぶりに子どもたちと再会して、元気に礼儀正しく、朝のあいさつをしてくれる姿を見て、さらに子どもたちの成長が楽しみになりました。

児童のみなさんは、新たな気持ちで今年の学校生活や学習の目標を決めて、その目標が達成できるよう日々頑張っていきましょう。わからないことや困ったこと、心配なことがあれば、一人で悩まないで、すぐに先生や保護者の方に相談をしてください。きっと解決方法が見つかるはずです。

学校には学校の職員以外にスクールカウンセラーの林先生(心の相談員)、スクールソーシャルワーカーの中田先生(学校や家庭の相談員)が定期的に学校を訪問しています。児童指導専任の三田先生や学級担任の先生がその相談員の先生とつなげてくれますので、必要があれば相談してください。

また、いじめている人を知っていたら、勇気をもって先生に伝えてください。一方的にいやなことを言われたり、されたりしたら、それは「いじめ」です。みなさんが一人のために、一人がみなさんのためになることを考えて生活すれば、「いじめ」は減って、学校はより良くなると思います。みなさんの一人ひとりの力も必要です。みなさんで力を合わせて、いじめのない学校にしていましょう。

まだまだ寒い日が続く、起きるのがつらいかもしれませんが、早寝・早起きを心がけ、服装などを工夫して、健康管理に気をつけて登校してください。



↑大口台小学校から撮影した富士山

七草粥(ななくさがゆ)の由来

七草粥を食べる風習は、中国から始まったとされています。中国が「漢」と呼ばれていた時代、1月7日に「七種菜のかん」という7種類の野菜を入れた汁物を食べて、無病息災を祈っていたそうです。その風習が日本に伝わり、かつて日本がお正月に若菜を摘んで食べる風習と結びつけて、江戸時代に庶民に定着したおかゆが現在のスタイルになったと言われています。現在では、毎年1月7日に日本の行事食として、その日の朝に「春の七草」が入っているおかゆを食べると、その年は無病息災で過ごせるとされています。

春の七草は「セリ、ナズナ、ゴギョウ、ハコベラ、ホトケノザ、スズナ、スズシロ」の7種類です。お正月のごちそう疲れの胃腸をいたわるために不足しがちなビタミンを補えるおかゆとしても理にかなっています。

私は毎年、七草を購入して七草粥の若菜の香りや彩りの良さを楽しんでいます。

